

重傷事故事例の一覧

都道府県から国土交通省への報告(平成16年4月)に基づき作成。

都府県名	物件名	建物用途	事故発生年月	時間帯	事故発生場所	年齢層	性	症状	事故原因	ドア回転速度	メーカー	種類	大きさ(mm)	設置時期	事故後の安全措置
1 東京都	霞ヶ関ビル	事務所・店舗・飲食店等	2002年9月	不詳	1F南入口	80代	女	大腿骨骨折	入場しようとして本人の杖が扉に当たり、その反動で外側に転倒した。	毎分3回転	ブーンイダムジャパン	トネックス(4枚扉)	4800	1998	減速装置のスイッチの増設
2 東京都	品川インタシティ	事務所	2000年4月	不詳	1F入口	4	男	鎖骨骨折で1ヶ月通院	挟まれた	毎分3.3回転超	ブーンイダム社	トネックス(4枚扉)	3600	1998	毎分3.3回転に減速。フリーマーケット開催時は、回転扉を使用停止又は扉を折り畳み自由に通れるようにしている。
3 東京都	グランパークビル	事務所	1997年6月	14:00	1F入口	30代	女	頭部と腰打撲で3ヶ月通院	台風7号による強風で回転扉の扉が突然折れたため、外へ出ようとした女性が衝突し、後に転倒した。	毎分3回転	(株) 田島順三製作所	ポノスター(4枚扉)	小判形	1996	一定の風速(20m/s)で自動的に扉が折りたたまれる設定を止め、強風時は扉の使用を停止することとした。
4 東京都	ホテルグランパシフィックメリアン	ホテル	1999年1月	不詳	2F入口	78	男	大腿骨骨折で2ヶ月入院	回転ドアに進入した際、動く歩道のように自動的に進むと思いきりで立ち止まり、安全装置が作動したが止まりきらずに後ろから扉に押されて転倒した。	毎分3.2回転	(株) 田島順三製作所	ポノスター(4枚扉)	小判形	1996	特になし
5 東京都	六本木ヒルズ森タワー	事務所・店舗	2003年12月	不詳	2F入口	70代	女	膝を床にぶつけて皿を割り入院し手術	回転扉に入り歩行している時に後ろから来ている扉に追突され転倒し、その際、膝を床にぶつけて皿を割り入院し手術を受けた。	不詳	三和タジマ(株)	シノレス(4枚扉)	4800	2003	
6 東京都	東京競馬競馬博物館	博物館	1992年6月	13:30頃	1F入口	2	女	左足甲骨にひびが入る。	子供が回転ドアに一人で入ろうとしたことに気づいていた母親があわてて子供の手を握った時、後ろからきた扉に子供が押されて転倒した際に、扉下部の隙間に足が挟まった。	毎分4.5回転	(株) ナブコ	サークルライオンMS-5(4枚扉)	3600	1991	事故防止センサーの感度を上げた。センサーの感知範囲拡大及び位置の改良。扉下部隙間に子供の足が入らないようクッションゴム(停止ハンバー)を設置。回転速度を毎分4回転まで減速。インストラクターの配置。注意喚起のためのシールや看板の設置。
7 神奈川県	ジャパンデカルアライアンス 海老名総合病院	病院	2001年1月	日中	1F入口	81	女	右大腿骨頸部骨折で1ヶ月半程度入院	回転速度についていけなくて転倒したと思われる。	毎分2.3回転	ブーンイダム社	デーツアー(2枚扉)	4200	2000	事故以前は病院職員を配置していたが、事故後は専門の警備会社の警備員を配置。
8 神奈川県	横浜ランドマークタワー	事務所・ホテル・物販等	2003年3月	18:30頃	1Fプラザ西側	7	不詳	大腿骨骨折	回転ドア内に子供4名が駆け込み、1名が濡れていた床に転倒し床と回転ドア下枠に足が挟まった。	不詳	ブーンイダム	トネックス(3又は4枚扉)	4800	1993	
9 新潟県	新潟空港旅客ターミナル	空港旅客ターミナル	1996年7月	11:15頃	1F入口	2	男	右脛骨骨折で1ヶ月の安静加療(入院はなし)	家族と一旦扉から出て、再び一人で扉に入るうとして扉の錠状に取り付けられたラバーとの隙間に右足を挟まれ転倒した。ラバーが扉下端までなく扉下端から2cm位で止まっていた。	不詳	ブーンイダム	デーツアー(2枚扉)	4800	1996	毎分2.4回転まで減速。ラバーを扉下まで伸ばした。下部用センサーの増設。
10 新潟県	"	"	1997年8月	11:00頃	1F入口	78	男	右脛骨骨折で2ヶ月半の入院	回転扉を通過しようとした際に、回転扉に接触転倒した。	毎分2.4回転	ブーンイダム	デーツアー(2枚扉)	4800	1996	職員による巡回監視
11 福井県	福井社会保険病院	病院	2000年11月	11:30頃	1F入口	81	女	左大腿骨にひび、約2ヶ月程度で完治	回転ドアを抜けようとしたところ、後ろからドアが当たり転倒。	毎分3回転	YKK	大型2ウイング自動回転ドアRDB-2(2枚扉)	4800	1998	事故直後から回転速度を毎分1.7回転に落とし、センサーの死角範囲を狭めた。
12 京都府	舞鶴赤十字病院	病院	2000年5月	13:20頃	1F入口	85	女	右大腿骨骨折で3ヶ月入院	院外へ出るため回転ドア内で前の人立ち止まったためバランスを崩し転倒骨折。回転ドアに接触なし。	毎分2.6回転	ベサム社	大型2ウイング自動回転ドアRDB-2(2枚扉)	4800	1999	特になし
13 大阪府	大阪ワールドトレードセンタービルディング	事務所	1999年6月	不詳	1F南入口	80	女	腰部骨折	回転スピードに付いていけなかったため。	毎分4回転	(株) ナブコドア	サークルライオン(4枚扉)	4200	1995	回転速度を毎分2.5回転に減速。注意喚起のシール貼付、看板設置。
14 大阪府	高島屋大阪店	百貨店	1997年11月	不詳	地階東館	86	女	股関節骨折で手術	斜めから入ってセンサーが効かず、回転スピードに付いていけなかったため、ドアに後ろから押され転倒。	毎分2.9回転	(株) 田島順三製作所・ブーンイダム(株)	ポノスター(4枚扉)	小判形・3300×5500	1997	回転速度を毎分2.7回転に減速。センサーチェックを実施。
15 大阪府	"	"	2003年5月	不詳	地階東館	89	女	腰部骨折	回転スピードに付いていけなかったため、ドアに後ろから押され転倒。	毎分2.7回転	(株) 田島順三製作所・ブーンイダム(株)	ポノスター(4枚扉)	小判形・3300×5500	1997	回転速度を毎分2.6回転に減速。(機械の限界値)
16 大阪府	"	"	2003年6月	不詳	地階本館	75	女	大腿骨頸部骨折	回転スピードに付いていけなかったため、ドアに後ろから押され転倒。	毎分2.6回転	(株) 田島順三製作所・ブーンイダム(株)	ポノスター(4枚扉)	小判形・3300×5500	1997	回転速度を毎分2.4回転にするため部品調達手配。追突防止センサー変更(超音波センサーから赤外線センサーへ)。ビジュアル表示強化(乗降者用の操作ボタン/説明表示・床面に回転扉への誘導及び逆表示取付)
17 大阪府	"	"	2003年7月	不詳	地階本館	80	女	右脛骨骨折、右頬顎裂傷で手術	回転スピードに付いていけなかったため、ドアと外周部支柱の間に挟む。	毎分2.4回転	(株) 田島順三製作所・ブーンイダム(株)	ポノスター(4枚扉)	小判形・3300×5500	1997	衝撃緩和材取付(上扉立枠ステンレス部分にゴムクッション)
18 大阪府	住友ビルディング	事務所	1997年7月	不詳	南玄関ホール	84	男	大腿骨骨折	後ろからきた扉が接触し転倒。	毎分5回転	寺岡フアンリテイズ(株)	RUSH5500(4枚扉)	4200	1997	回転速度を4回転まで減速。センサー感知範囲拡大。ドア端部に緩衝材(ゴム)取付。音声誘導装置の導入。
19 岡山県	岡山協立病院	病院	2003年2月	14:00頃	1F入口	70	女	足骨折で1ヶ月程度の入院	不明(付がした本人は自分で転んだといっているが、本人は目が不自由であり目撃者もいないため、原因不明)	メーカー標準	(株) ナブコ	サークルスターDUO(2枚扉)	4800	2002	死角をなくすためのセンサーの増設を行った。
20 福岡県	アクロス福岡	劇場・集会場・店舗等	1995年7月	20:25頃	1F北	76	男	右足大腿部骨折で約6週間入院	不明(本人は言葉が不自由で聞き取れず詳細不明)	不明	ガードナー社	バサード(4枚扉)	4800	1993	特になし
21 福岡県	"	"	2001年4月	14:26頃	1F北	95	男	左足大腿部骨折	回転扉の出口で立ち止まり、帰る方向に迷っていたところ後ろの回転扉に押されて転倒。	不明	ガードナー社	バサード(4枚扉)	4800	1993	高齢者対応策として回転速度を低速(回数不詳)で運用する。
22 福岡県	"	"	2001年8月	15:55頃	1F北	80	女	股関節骨折で3ヶ月入院	回転扉の出口で、同じ扉内の他の客が立ち止まって通路をふさがれ、後ろの回転扉に押されて転倒。	不明	ガードナー社	バサード(4枚扉)	4800	1993	H13.9に回転扉の利用上の注意書きを掲示部に設置。同年10月に高齢者対応策として回転速度を低速(毎分2.6回転)で運用。また、1F北の回転扉の床に扉の回転領域を紙で表示。